

10年目だよ! 大人も子どもも 全員集合!

薬師台メディカル TERRACE
ありがとう♡祭り

おかげさまで薬師台おはなほっぽろクリニック・薬師台おはな接骨院・薬師台ティサービスおはな・薬師台おはな介護相談所(薬師台メディカルTERRACE内)が10年目に突入!

2024年3月30日(土)、初夏のような快晴の中、薬師台メディカルTERRACEにて「10年目だよ!大人も子どもも全員集合!ありがとう♡祭り」が、TERRACEの全店舗責任者の音頭・企画で、スタッフたち、そして地域団体の皆様の協力のもと開催できました。



当日は、「おしごと体験・やくだいキッズニアリアル」が大盛況!本当の現場でのおしごと体験です!泰大会からはお医者さん体験、看護師さん体験、包帯ぐるぐる&マッサージ体験、高齢者体験を提供!マッサージマスター認定された子ども達もたくさんいましたね。泰大会のマスコットでもある「トゥトゥク乗車体験」も実施!本場さながらの衣装に身を包んだ坂本&木村コンビが運転手をつとめました!

フ達が触れ合うことができました。普段の診察とは違う会話ができましたね。その他「ユニカール&モルック体験」、近隣の福祉関連事業者さんによる「POP UP SHOP」・泰大会スタッフから提供の「フリーマーケット」、最近巷で人気の「キッチンカー」に来てもらうなど、おかげさまでたくさんの方々にお越しいただき大盛況のうちに終えることができました。

このようなイベントからも「イキイキチキ」につなげて行きたいですね



☆ Shopping ☆

～地域の健康を医療のチカラで明るく照らす～ 薬師台メディカルTERRACE

薬師台メディカルTERRACEの「TERRACE(てらす・照らす)」には～木陰でちょっと休憩～というイメージや～祖母・照子の「照」の字～があり、明るく照らす 優しく照らすという想いも込め、2015年3月9日(Thank youの日)に開設いたしました。そして今年も10年目に入ります!これもひとえに日頃よりご利用いただいている皆様、近隣の皆様、日々従事していただいている各店舗スタッフの皆様、様々なシーンで関係してくださっている皆様のおかげだと、心より感謝申し上げます。このようなイベントをきっかけに地域の皆様と医療従事者・介護従事者であるスタッフ達、スタッフ同士がくよりオープンでくよりフラットなくより気軽な関係となっていければと思います。そのような関係性がより良い医療、より良い介護、より良い治療につながることで、そしてより健康的な地域につながることを考えています。これからも～地域の健康を医療のチカラで明るく照らす場所～としてあり続けたいと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。 主催：薬師台メディカルTERRACE 代表 野口 泰昭

開催協力

そうごう薬局・うんの歯科・町田市ユニカール協会・クラフト工房 LaMano・町田市鶴川第1高齢者支援センター・赤い屋根・クローバーの会・ウォームブルー・町田実行委員会・清風園・みんなの居場所ほほはほく・つるかわ子どもこもんず・麴自然発酵ばん Lemon・薬師台民謡音楽同好会・タケオ・響生・うまけん・アメタマ企画

自慢の! 資格

森下 真紀子
陽だまり鍼灸マッサージ院 鍼灸マッサージ師
・トラベルヘルパー3級

講座は受講したのですが、資格証がないので修了はしていません。実地講習で、渋谷から車椅子の介助をして電車に乗る、原宿で降りて、明治神宮へ。神社の玉じりのある道を車椅子を押して介助する訓練をしました。実際はこの資格よりも、トラベルヘルパー協会からの依頼で看護師資格を使って、病院の付き添いと、日帰り旅行2回を同行しました。とても大変でしたね。旅行がリハビリになるのはよく理解できましたし、一緒に行った方ご家族は喜んでくださったので嬉しかったです。

森下 潤
薬師台ティサービスおはな 介護福祉士
・調理師

食べるのが好きだったことから母親の手伝いで小学生の頃から料理はしていました。成人して時間が経ち音楽だけで生活するのは難しく、知り合いの誘いで居酒屋で働いていました。「資格なんて関係ない!」と思っていましたが、働いていた証だと考え直し、友達参考書を拝借し受けてみたら、なんと合格!!していました。学ぶもの的には衛生管理や器具の名前、料理の歴史など、ただ料理の手順を知るだけではなく見方によっては面白かったです。ここまで書きましたが、資格よりも大事なことは、上の方からの根性論や怒鳴られながらの仕事など今では体験できないことだらけの世界にいたことではないでしょうか?と、時に思うことがあります。詳しく聞きたい方は…何かの機会でお話しできればと思っています。

あの日あの時あの場所で～ ぼくの、わたしの 夏休みの思い出

皆様いかがお過ごしでしょうか? 梅雨が明けたら、いよいよ夏本番ですね! 夏といえば、私は農家の幼なじみと食べたきゅうりの味を思い出します。ということで今回は、泰大会メンバーの方々から夏の思い出をインタビュー! 読者の皆様も、懐かしいあの頃に思いを馳せてみてはいかがでしょうか?



山田加奈子
鍼灸あん摩マッサージ師
(陽だまり鍼灸マッサージ院)

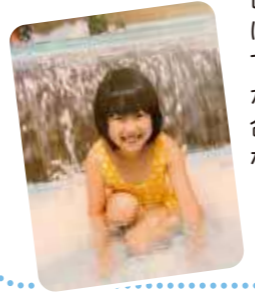
私は長野県上水内郡信州新町(現在は長野市)というところで生まれ育ちました。木登りをしたり沢の上流目指して探検したりと、田舎ならではの子供時代を過ごしました。町の中心を国道19号が通っていて、お盆には19号沿いを流れる犀川で花火大会が開催され、毎年家族で観に出かけていました。町の人口の何倍も人が訪れる賑やかな催しです。花火大会の最後には犀川にかかる橋からナイアガラの花火がキラキラと落ち、とても幻想的な光景でした。今でも毎年開催されていますよ。



左が本人、右が姉



佐々木芽衣
柔道整復師(薬師台ティサービスおはな)



町田に来る前、小学校1、2年の時に茨城県つくば市に住んでいて夏は歩いて2分の公園プール(松代公園)で父と遊んだり、自転車の練習に付き合ってもらったりしていました!父は仕事で忙しく、金曜日夜帰ってきて日曜日午後には相模原にある職場に戻るとい事で一緒にいる時間が短かったので、そこで飽きるまでたくさん遊んでもらった事が思い出です!仕事で疲れているのによく付き合ってくれたなと…今自分が仕事してる人間になって思いましたね笑

ちなみに、実は生まれはアメリカです!



藤田一矢
作業療法士(こんどう整形外科)

小さいころ札幌に住んでいた私は、夏になると車で北海道内を移動する事が多かったです。その時に特に楽しみにしていたのが年に一度、旭山動物園に行くことでした。小さい頃から動物が好きで、特に猫が好きな私はライオンや虎を見てはしゃいでいた記憶があります。函館に引っ越しをしてからは中々行く機会がなかったのですが、数年前に行ける機会があって来園すると昔とは比較にならないほど規模が大きくなっていて驚きました。ロープを利用して真上を通るオラウータンなど見所も多いです。機会があれば是非行ってみたいですね!



おはな+

OSAJI
ご利用者さまとのコミュニケーションが広がる会報誌

たいだいかい
イキイキチキ法人泰大会

令和6年 7月号
VOL.32
おさじとは?

江戸時代の大奥などで「医師」を示す言葉でした。体に栄養を運ぶ「おさじ(スプーン)」のように、皆様に楽しんでいただける情報をお届けしてまいります。



白田菜々子
看護師
(薬師台おはなほっぽろクリニック)

母の実家が沖縄にあり、たまたま大学から通いやすい場所にあったため祖父母の家に下宿させてもらいながら4年間沖縄で学生生活を送っていました。沖縄には海辺でするBBQのことを「ビーチパーティ」といって、親戚や友人で交流する文化がありました。お肉を食べて、綺麗な海に入って、みんなでゆんたく(沖縄の方言でお話しという意味)して、楽しい思い出です。長らく沖縄に行けていないので、今年こそは帰りたいなと思います。



谷津 敦史
総務職(薬師台おはなほっぽろクリニック)

私は茨城県の水戸市で生まれ、高校卒業まで住んでいました。私が住んでいる地区では夏が近づくと地区の小学生4年生から6年生までがお盆に開催される祭りにむけて太鼓の練習をおこないます。和太鼓と竹を使った演奏は地区の小さい祭りにしてはとても迫力があり、練習で太鼓や竹の音が夜に聞こえてくると、もう夏がきたんだなあと感じられます。ここ何年も聞けてないので、久しぶりに聞きにいきます。



INTERVIEW

35年にわたる泰大会の歴史で初めてとなる「理事長交代」「事業継承」にあたって、当事者であるお二人にお話を伺いました。



近藤 泰一 YASUKAZU KONDO



坂本 まずは、近藤先生に。これまでの泰大会の歴史と言いましうか、生い立ちについて教えていただけますか？

近藤 そうですね。35年も経つと私自身の衰えはもちろん、「患者が老いていく」姿も見てきました。町田という街も変わって、時代が変化していく中で、今もこうして医療法人が根ざしていただけるのも、組織の若返りに貢献してくれたスタッフの先見の目と努力なのでしょう。おかげで私自身も元気にいられましたし、泰大会は今もこれからも多くの地域貢献をしていけると確信した上で退任できます。

坂本 初めは数名で開院した整形外科医院が、今や従業員150人を超える医療法人になったわけですね。地域貢献だけでなく多くのスタッフを養ってきた功績は素晴らしいと思います。大変だったのではないですか？

近藤 もちろん、良いことばかりではありません。自分は整形外科医であり、経営者としてはど素人、今となっては失敗や後悔ばかりだったなあと思います。特に松林クリニックととりのき接骨院が開院した時はかなり挫折をしました。法人が自分の専門以上に拡がり雇用する職種も増え、介護事業や訪問事業がはじまった時も私自身には全く未知の世界になっていました。まさか自分が訪問診療をするなんて思ってもみなかったし、様々な診療科や職種と出会えたのは良い経験でした。

坂本 その専門を超えた診療、医療介護事業のコラボや訪問診療など発展させてきたのは理事長を引き継ぐ野口先生ですが、この泰大会の歴史をどう見えていますか？

野口 近藤先生がお話してくださった通り、私も初めて泰大会と関わったのは外科医として病院に勤めていた頃に旧近藤整形外科でアルバイトをしていて開業医の世界に触れさせてもらいました。病院では外科手術だけでなく内科的的外科的救急や訪問診療も含めそこそこ広く勉強してきた自信もあり、正直当時は「なんて簡単で楽な診療なんだ」と今となっては視野が狭く浅はかな感想でした。開業医の歴史やこれからを語るのに自身が開業医でないと絶対に無理で、私も開業医になってはじめて近藤整形外科がこうして30年を超えて存続できていることがものすごい広い視野で深い志向から成り立ってきたのだと思えました。開業医は自身で何が出来る？も大切かも知れませんが、病気を診るだけでなく「人を診る」

「人が住む地域のニーズを知る」ことが求められます。なので私が発展を求めていたとか事業を拡大したというよりは「医療法人のこれから」に当たり前のアクションをただで、近藤先生をはじめご理解いただいた幹部やスタッフ達のおかげです。

坂本 お二人は今こうして一緒に働いてらっしゃいますが、ジェネレーションギャップを感じますか？

野口 親子ですが、、、話せばキリがないくらいギャップだらけです(笑)ケンカになるのでこの話題はやめましょう。

近藤 (笑) そうだなあ。もちろん違いは当然だけど、時代の移り変わりやそれこそ今回の事業継承を意識できたのは息子のおかげであり、こいつなら自分が大切にしてきたスタッフや患者を守ってくれると、真に優しいところは俺に似たな(笑)。

坂本 最後にこれからの泰大会について、野口先生にとっての展望を聞かせてください。

野口 そうですね。コロナ禍の変革で医療法人としても大きく成長したこの時、今度はやはり超高齢化少子化、地域というか日本の働き手不足、先の見えない経済、多様化に対応していくのは非常に困難と感じています。泰大会の今の事業展開は地域にとっても従事者としても決定的外れではありませんが、正直スタッフ一人一人が満足に働いているか、医療介護の連携や診療体制を深く理解して使いこなしているか、が焦点になっています。私の志として施設長としての役割を超えて理事長になるからには、今だけでなくこれからもしっかり見据えて勉強していかなければならないですし、施設長や主任たちとそれを分かち合い、様々な職種のプロとしての育成に関わり、たとえ地域や時代として衰弱があったとしても乗り越えられるような強い組織を作りたいです。基本的な信条としては泰大会の究極成果「イキイキチキチキ〜今もこれからも安心して暮らせる地域」のために、誰に対しても「一生を診る。一生に寄り添う。」ということを買くことです。

近藤 私の一生もよろしく(笑)

坂本 引き続き泰大会のためにご尽力いただきたいと思います。ありがとうございました。

野口 泰芳 TAIHO NOGUCHI



HISTORY 医療法人社団泰大会 たいだいかい

従業員: 150名 (令和6年4月1日時点)

1988年11月	近藤整形外科開院(町田市中町)
1994年9月	法人化する
2014年4月	陽だまり鍼灸マッサージ院 開院(町田市中町) 初代院長: 上野尚樹
2015年3月	薬師台おはなぼっぽクリニック 開院(町田市薬師台) 院長: 野口泰芳
	薬師台おはな接骨院&鍼灸マッサージ院 開院 初代院長: 野口泰昭

2015年7月	薬師台デイサービスおはな・薬師台おはな介護相談所 開設 初代所長: 鍋島将行
2020年7月	本部機能移転(町田市中町⇒町田市薬師台) 近藤整形外科 移転(町田市旭町) 「こんどう整形外科」へ名称変更 陽だまり鍼灸マッサージ院 移転(町田市旭町)
2024年3月	おはなぼっぽホームナーシング&リハビリテーション (訪問看護ステーション) 開設
2024年7月	近藤泰一理事長が退任し、野口泰芳が理事長に就任

従業員数

